

ゆりかもめ賞

バスにゆられて

高松中学校 舟山 美緒

私は毎年、花粉症に悩まされる。クシヤミや鼻水があまりにひどくて、ねむれない日さえあるほどだ。たまにニュースなどで流れる杉の花粉が大量にとびかい、うつすら空気がオレンジ色になっている映像をみているだけで、鼻がムズムズしてくるような気がする。これまでの人生で、何度スギやヒノキが絶滅してくれることを願ったか。昔は、花粉症という病気は存在しなかった。では何故、花粉症は生まれてしまったのだろうか。

戦後、国が木材の需要が増えるの見越して、真つすぐで、成長のはやいスギを大量にうえた。しかし、結果は失敗におわる。木材よりもコンクリートなどがつかわれたからだ。そして、その大量に残ったスギたちは、あまり手入れもされず、あれ放題となり、空気中の花粉の量が増えてしまったことが原因だそうだ。

また、近年、花粉症になる人が増えている。理由は、生活環境の変化による免疫力の低下や、車の排気ガスによる大気汚染などが挙げられる。

そもそもの花粉症が生まれた理由にしろ、その被害者を

増やしている理由にしろ、人間の自業自得なのだ。

この場合、まず最初に、自然に人間の手を加えてしまったことがいけなかったのだろう。木を植えているときくと、何だか環境によさげなイメージだが、逆に自然をこわしてしまっているのかもしれないという可能性も考えた上で、その植え方に気をつけなければいけないということが分かった。その他にも、植えたら植えっぱなしで、その後口クに手入れもしていなかったというのもいただけない。自分達の都合で植えたのだから、最後までめんどうをみるべきだろうと私は思う。

森林を伐採し、自然を破壊することは、もちろん悪いことだが、何の考えもなしに、自然に人の手を加え、それにより人に被害がきてしまつては、意味がないにも程があるのではないだろうか。

地球の環境を良くしようとして、私達の生活環境が悪化しても困るし、私達の生活を良くしようとして、自然環境が悪化しても困る。自然と人間の共生への道のりは、まだまだ遠いとみていいだろう。

環境問題は、一つの問題ではなく、必ず他の問題とつながっている。そこが、この問題の解決を難しくさせているところだ。この花粉症の例にしても、人間が安易に自然に手を入れたことがきっかけで、これまた人間が原因である大気汚染によつて被害を拡大させている。

こんな大きなサイクルができあがつてしまつている中で、私に何ができるのだろうか。自然への介入の方は、一介の中

学生である私には多分、何もできないだろう。それは国レベルの仕事だ。となると、大気汚染の方になる訳だ。これに関してできることと言ったら、なるべく公共の交通を利用することだろう。

花粉症一つで、ここまで話がひろがるとは思わなかった。来年は症状が少しでもかくなることを願って、バスにゆられる今日この頃である。